

SANWA SUPPLY オプトマウスアリア 取扱説明書

MA-72Hシリーズ

a.r.i.a



最初に
ご確認ください

セット
内容

- マウス本体 1台
- ドライバディスク
(Windows用 8cmCD)... 1枚
- 変換アダプタ... 1個
- 取扱説明書 1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- 1 はじめに
 - 警告
 - ・ テレビ/ラジオの受信障害について
 - ・ 注意
 - 保証規定
 - 対応機種・対応OS
 - 接続する前に必ずお読みください。
 - ・ 本製品をUSBポート接続する際の注意
 - ・ BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合
- 2 ハードウェアのインストール (Windows用)
 - ・ マウスの接続
 - ・ USBポート接続の場合
 - ・ PS/2マウスポート接続の場合
- 3 ドライバソフトをインストールする前に
お読みください (Windows用)
 - ・ 内蔵ポインティングデバイスの切り離し
 - ・ USB接続の場合
 - ・ PS/2接続の場合

目次(続き)

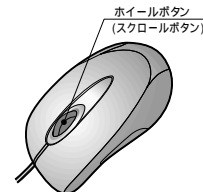
- 8 ドライバソフトのインストール (Windows用)
 - ・ Mouse Suite (マウススイート) 2003のインストール
- 11 本製品の使用方法
 - ・ 左ボタン・右ボタン
 - ・ ホイール(スクロール)
 - ・ ホイールボタン(スクロールボタン)
 - ・ ズーム
 - ・ 800/400カウント切替え
- 12 Mouse Suite 2003のコントロールパネル
- 13 マウスプロパティのタブ
 - ・ 「ボタン」の設定
 - ・ 拡大鏡
 - ・ ハイパーリンク
 - ・ ハイパーグリッド
- 15 その他の機能
 - ・ ボタン割り付け機能の一覧
 - ダブルクリック
 - ・ ダブルクリックのスピード調節

- 16 方向
 - ・ ポジション設定
 - ホイール
 - ・ スクロールとホイールボタンの設定
- 18 インタビリティ
 - ・ ボイントラップ
 - ・ ボインタを隠す
 - ・ ソナー
 - ・ スローモーション
 - ・ X焦点
 - ・ オートジャンプ
- 19 Mouse Suite 2003
 - ・ オンライン商品サポート
 - ・ アンインストールユーティリティ
 - ・ マウスアイコンをタスクバー上に表示
- 20 テクニカルサポート

はじめに

このたびは、オプトマウスアリアをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってもボールの動きがスムーズでないといたことがない。メンテナンスフリー構造になっています。本製品はマウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。また本製品は、800/400カウントの解像度切替えが簡単に入りますので、インターネットやドキュメント作業からグラフィックや写真画像の編集まで、幅広いバージョンに対応します。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。



警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しないう変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
保証書を提示いただけない場合
所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合、故障の原因が取り扱えない上、不注意による場合。
お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
- 5)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 6)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 7)保証書は日本国内においてのみ有効です。

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載パソコン

各社DOS/パソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM PC、Activa、Think Padシリーズ
Apple iMac、iBook、Power Mac G4/G3シリーズ
USBポート(Aタイプ)およびPS/2マウスポートを持つ機種。
PS/2接続の場合は、内蔵ポインティングデバイスとの併用はできません。内蔵ポインティングデバイスを使わない様に設定できない場合は、USB接続してください。(詳しくは6ページPS/2マウスポート接続をご覧ください。)

対応OS

USB接続:Windows XP・2000・Me・98SE・98及びMac OS X(10.2以降)
Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準でインストール可能なアプリケーションのみサポート可能です。またポインティングボタン押下げによる動作はサポートしません。
Mac OS 8.6~9.2.2でご使用の際は、当社ホームページ <http://www.sanwa.co.jp/> よりドライバをダウンロードしてください。
PS/2接続:Windows XP・2000・Me・98SE・98・95・NT4.0(SP3以降)
機種により対応できないものもあります。
この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

接続する前に必ずお読み下さい。

本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindows等において自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。
「スタート」、「設定(S)」、「コントロールパネル(C)」、「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなくても見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップデートしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合

BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1がF2を押すものが多いですが、詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

ハードウェアのインストール (Windows用)

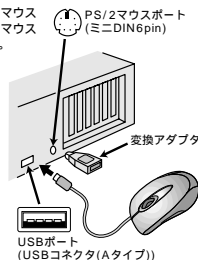
注意:ハードウェアをインストール前に他のアプリケーション等を外しておくことをお薦めします。

マウスの接続

本製品は、USBインターフェイス及びPS/2マウスインターフェイスに対応したコンピュータのマウスです。接続には2通りの方法があります。

- ・USBインターフェイスによる接続
1.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
2.本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。(続きは5ページに)

- ・PS/2マウスポートによる接続
PS/2マウスポート接続の場合、注意していただきたい事項がありますので、6ページを参照の上、接続してください。
1.コンピュータの電源を切ってください。
2.コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。



- 3.付属の変換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。
- 4.コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。

詳細な設定については、後ほど説明します。
接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。(詳細な設定は6ページ参照)

一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン(排他 影響機能のないタイプ)及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど(USBキーボードにPS/2マウスポートが付いているパソコン)には、USBポート接続により対応いたします。

マウスをパソコンに接続した際、またはパソコンを立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光しますので、その間はマウスを動かさないでください。

ハードウェアのインストール (Windows用) (続き)

USBポート接続の場合

コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。Windows XP/2000/Meは、下記インストール方法と多少異なり、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」/「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを探索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



検索方法を選択してください。
使用中のデバイスに最適なドライバを検索するも(推奨) ----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。チェックボックスにチェックマーク ✓) を入れずに ----- 次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、
検索場所の設定(⌵)

もしくは、
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
もし、上記の検索場所で見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(Ⓔ)にチェックを付けてください。

5

ハードウェアのインストール (Windows用) (続き)



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

PS/2マウスポート接続の場合

マウスを接続する前に、内蔵ポインティングデバイスの切り離しを行ってください。タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2コントロールマウスと併用することはできません。代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・

SHARP Mebiusシリーズの場合

1 起動時、NEC ロゴ等が表示されている時に「F2」キーを押してください。

2 詳細 / NX/パッドを自動にしてください。

以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっていますので、「使用しない」にしてください。

ソニー VAIOシリーズの場合

コントロールパネル / Notebook Setupにてタッチパッドを使用しないように設定してください。

東芝 Dynabookシリーズの場合

スタート プログラム / 東芝ユーティリティあるいは、

ハードウェアセットアップ / ハードオプション / ポインティング装置で自動あるいはオフにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

ThinkPadユーティリティでトラックポイントを使用しないに設定してください。

6

ハードウェアのインストール (Windows用) (続き)

コンピュータの電源を切ってください。コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。付属の変換アダプタを使用し、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。

接続方法については4ページを参照してください。コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。これで、マウスは使えるようになりました。

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。(Windows用)

重要(必ずお読みください)

本製品の添付ドライバソフトがインストールされていない状態でも、マウスの基本的な機能は使えます(Windows NT4.0 / Windows 95を除く)。イージージャンプ、ボタン割り付け等の特別な機能を使う場合は、添付ドライバソフトのインストールが必要になります。

内蔵ポインティングデバイスの切り離し

本製品添付のドライバソフトは、各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバソフトをインストールする前にお使いください。各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

<USB接続の場合>

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャ / マウスで「NXPAD」あるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。途中「このデバイスの適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。

Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ / マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。途中「このデバイスの適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

以上で準備は終わりです。ドライバソフトのセットアップを開始してください。

7

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。(Windows用)(続き)

<PS/2接続の場合>

NEC PC98/NXシリーズ、富士通 FMV-BIBLOシリーズ、ソニー VAIOシリーズの場合デバイスマネージャ マウスでXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス、あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。途中「このデバイスの適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。IBM ThinkPadシリーズの場合アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。

Compaq Armadaシリーズの場合アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス、あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。途中「このデバイスの適していない……」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

そのうえで、ノートパソコンなどの場合、内蔵のボイティングデバイス(タッチパッドなど)が動かないことを確認してください。動かなければ前準備は終了です。ドライバソフトのセットアップを開始してください。

ドライバソフトのインストール (Windows用)

Mouse Suite (マウススイート) 2003のインストール

Windowsを完全に起動させ、Mouse Suite 2003をCD-ROMドライブに入れてください。

Mouse Suiteセットアッププログラムが自動的に立ち上がります。もし自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」「ファイル名を指定して実行」、「D:\Setup.exe」(DがCD-ROMドライブの場合)でセットアッププログラムを立ち上げてください。

あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Mouse Suite 2003



ようこそ
Mouse Suite 2003セットアッププログラム
ようこそ。
このプログラムはMouse Suite 2003
をシステムにインストールします。
----- 次へ(N)

8

ドライバソフトのインストール (Windows用)(続き)

Mouse Suite 2003



ハードインターフェイスの選択
PS/2 (P)
シリアル(RS-232C) (S)
● USB(Universal Serial Bus) (U)
「USB」を選択して ----- 次へ(N)
(PS/2マウスポート接続の場合、
PS/2 (P)にチェックマークを入れてく
ださい。)



マウスの場所を選択
キーボード右側(右利きユーザー) (R)
キーボード左側(左利きユーザー) (L)
----- 次へ(N)



インストールの開始
インストールの準備ができました
----- 次へ(N)

この段階でエラーメッセージが出る場合があります。
次のページを参考してください。



セットアップ完了
セットアップがMouse Suiteをイン
ストールしました
----- 完了(E)

9

ドライバソフトのインストール (Windows用)(続き)

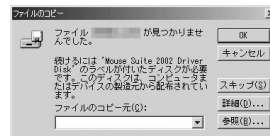
セットアップ中に下記のようなダイアログが表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。



この場合「ファイルのコピー元」にインストールディスクのドライブ名を指定してください。

CDの場合は環境によって違います。
ドライバCDがDドライブの場合を例にあげています。
Dドライブ以外にCDが挿入されている場合は先頭の文字をそのドライブ名の先頭の文字に置き換えてください。

< Windows Me/98の場合 > d:\w98
< Windows XP/2000の場合 > d:\w2k
< Windows NT4.0の場合 > d:\nt4



Windows 2000の場合、インストール作業中に警告メッセージが出る場合がありますが、インストール作業を継続していただいても問題ありません。
Windows 95 OSR2.1等でご使用になりたい場合は、当社ホームページよりダウンロードしたMA-MBUSB用ドライバ(Ver2.1)R3の中にある「setup.exe」ファイルを実行し、マウスドライバをインストールしてください。(ただし、このドライバはMouse Suite 2003ではありませんので、本取扱説明書の内容とは異なります。)

10

マウスプロパティのタブ(続き)

メニューの中にあるボタンをクリックしてください。または、「ボタン(B)」リストの中からボタンを選択してください。選択したボタンがボタンリストとマウスアイコンの中に出ます。
そして、「機能(F)」リストからボタンの機能を選んでください。(最低一つのボタンをメインマウスボタン(第一マウスボタン)の設定にしてください。)
マウスボタンの機能を初期設定に戻したい場合、「デフォルト値を使用(D)」をクリックしてください。

ボタンの設定を確定する場合、「適用(A)」をクリックしてください。

拡大鏡

マウスボタンを拡大機能として選択すると、クリックするだけでカーソルの周辺が拡大されます。

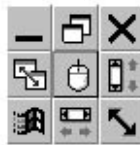
「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。そして、拡大機能を可能にするため、ファンクションリストの中から「拡大鏡」を選択してください。
「設定(S)」の機能で拡大のサイズを調節することができます。
最後に「適用(A)」をクリックしてください。拡大機能がマウスのクリックで実行可能になります。

ハイパーリンク

マウスボタンをハイパーリンクとして選択すると、クリックするだけでアプリケーションまたはドキュメントを簡単に開くことができます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。ファンクションリストに入っていないドキュメントまたはアプリケーションを選択したい場合、ファンクションリストの中から「ハイパーリンク」を選択してください。
次に、「設定(S)」をクリックしてください。「参照(R)」をクリックし、適切な登録したいアプリケーションを選んでください。選択した機能を確定する際は、「OK」をクリックして最後に「適用(A)」をクリックしてください。ハイパーリンク機能がマウスのクリックで実行可能になります。

ハイパーグリッド



ハイパーグリッドには9つのWindows機能があります。この9つの機能は1つの画面上で選択できるので1クリックで簡単に使用できます。

上記の手順と同じように、いずれかのマウスボタンをハイパーグリッド機能として選択してください。ハイパーグリッドの使用の際は、ハイパーグリッド機能を割り当てたマウスボタンを押しっぱなしにしておくことでグリッドが現れますので、ボタンを押しのまま選択したいアイコンまでカーソルを移動させボタンを放してください。

14

その他の機能

ボタン割り付け機能の一覧
後退
ウィンドウを閉じる
コントロールパネル
コピー (Ctrl+C)
コンテキストメニュー
切り取り (Ctrl+X)
ダブルクリック
ドラッグロック
Enter
Esc
F1 - F12
ウィンドウの最大化
マウスの中央ボタン
ウィンドウズの最良化
マイコンピュータ
ハイパーグリッド

次のウィンドウ
ページを下へ
ページを上へ
貼り付け (Ctrl+V)
第一マウスボタン
プリンタ
クイック/オートスクロール
ごみ箱
Ctrl+A
ウィンドウズを元のサイズに戻す
スタートボタン
インターネット
元に戻す (Ctrl+Z)
エクスペローラー
Shift
Alt
Ctrl
ハイパーリンク
拡大鏡

ダブルクリック

ダブルクリックの機能で、アプリケーション上でのダブルクリックに対する反応の速さを調節することができます。



ダブルクリックのスピードを試したい場合は、テストエリアにあるアイコンをダブルクリックしてください。
確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

15

方向

この機能で、一番使い易いマウスのポジションを設定することができます。



「方向の設定(S)」をクリックするとマウスの位置の設定画面が出てくるので、これに従ってください。
位置の設定を初期設定に戻す場合は「方向の設定をリセット(R)」をクリックしてください。

確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

ホイール

ホイールの設定で、スクロールとホイールのボタンの設定ができます。

ホイール (W)

Mouse Suite 2003は、Microsoft Intellimouseと互換性があります。Intellimouseのエミュレーションを選択すると、ホイールのスクロール機能はMicrosoft Office 97と互換性のあるアプリケーションのみ使用できるようになります。



Microsoft Intellimouseのエミュレーションのみを使用したい場合は、「Microsoft Office 97 スクロールエミュレーションのみを使用(M)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

16

ホイール(続き)

Mouse Suite 2003には「ユニバーサルスクロール機能」があり、ほとんどのアプリケーションのスクロールバーに使用できます。(例: WordPerfect 97, Netscape Navigator 3.0, Microsoft Office 95) しかし、ユニバーサルスクロール機能を選択している場合、マウスはIntellimouseの拡大・縮小機能が使えなくなります。この機能を使いたい場合は、「例外(X)」ボタンを選択し、Intellimouseモードで使用したいアプリケーションを指定してください。

「ユニバーサルスクロール機能」を使用可能にする場合は、ホイールの中にある「ユニバーサルスクロールを使用(E)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

拡大・縮小機能を使用可能にしたいアプリケーションを指定するために、ホイールにある「例外(X)」ボタンを選択してください。次に「追加(A)」ボタンをクリックしてください。そして、指定したいアプリケーション名をプログラムパスを入力してください。「参照(B)」ボタンで追加するアプリケーションを選択することができます。確認は「OK」をクリックしてください。指定したアプリケーションを削除したい場合、「削除(R)」をクリックし「OK」で確認してください。

ホイールボタン(B)

「ホイールボタン(B)」でマウスのホイールボタン機能の変更ができます。

「クイック/オートスクロールコントロール(Q)」を選択すると、クイックスクロール/オートスクロール機能が使えます。

スクロール/オートスクロール以外の機能をホイールボタンに割り付けたい場合は、「ボタン機能(U)」をクリックしボタンファンクションリストが表示されます。このリストの中から機能を選択し、「適用(A)」をクリックして確認してください。

ホイールボタン(C)

「スクロール速度(Q)」でホイールボタンのスクロールスピードの調節ができます。

「スクロール(O) [] ライン/ノッチ」を選択し、1行から20行までのスクロールの幅の調節ができます。矢印でスクロールの幅の調節を行ってください。「1ノッチにつき1画面をスクロール(N)」を選択すると、スクロールは1画面ごとにスクロールされます。スクロールの方向を逆にしたい場合、「スクロール方向を逆転(V)」にチェックを入れてください。

ホイールの設定を確認する場合「適用(A)」をクリックしてください。

17

ポインタユーティリティ

ポインタユーティリティを開くと、ポインタラップ、ポインタを隠す、ソナー、スローモーション、X焦点、オートジャンプの機能を設定することができます。ポインタユーティリティの機能及び画面はOSのタイプによって異なります。



ポインタユーティリティの機能を使用可能にするために、どこかにチェックを入れ「適用(A)」をクリックしてください。

ポインタラップ(W)

「ポインタラップ(W)」を使用可能にすると、ポインタを画面のほしに移動したとき自動的にカーソルが画面の反対側に現れます。

ポインタを隠す(V)

「ポインタを隠す(V)」を使用可能にすると、タイピング時カーソルが消えます。マウスを移動させると自動的に画面にカーソルが現れます。

ソナー(Q)

「ソナー(Q)」の機能で簡単にカーソルの位置が確認できます。Ctrlキーを押すと、ソナー機能が使用可能になります。この機能は他のCtrlキーの機能に干渉しません。

スローモーション(S)

Shiftキーを押せばなしにすると、カーソルを一時的にゆっくり移動させることができます。この機能は他のShiftキーの機能と干渉しません。

X焦点(X)

タイトルバーにカーソルを移動すると、そのウィンドウをアクティブにすることができます。ウィンドウを切り替えるとき、クリック無しで行えるので大変便利です。

オートジャンプ(J)

「オートジャンプ(J)」を選択すると、ダイアログボックスを開いたとき、カーソルが自動的にデフォルトボタンに移動します。

Mouse Suite 2003

Mouse Suite 2003のページは、色々なオンライン製品サポートのリンクまたはアンインストールとタスクバーマウスアイコン機能があります。



オンライン製品サポート

お問い合わせは弊社Webサイトより「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」のリンクをたどり、問い合わせフォームに必要事項を記入して送信してください。

Mouse Suite のアップデートドライバをダウンロードする場合、弊社Webサイトに行き、ダウンロードできます。ホームページ: <http://www.sanwa.com.jp/>



お問い合わせは弊社Webサイトからが便利です。「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」よりサポートフォームに入力してください。

18

19

Mouse Suite 2003

アンインストールユーティリティ (U)

Mouse Suite 2003をアンインストールする場合、「アンインストール(U)」ボタンをクリックし、画面に出てくる指示に従ってください。

マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)

Mouse Suite 2003のアイコンをWindowsタスクバーに追加したい場合、「マウスアイコンをタスクバー上に表示(S)」にチェックマークし、「適用(A)」をクリックしてください。